

事業所名 障害児通所支援事業所 Uサポート高松  
放課後等デイサービス

### 支援プログラム

作成日 2024年 12月 17日

法人（事業所）理念	『支えあい、共に生きる』 助けを必要としている人に寄り添い、支援の手を差し伸べ、その人から「生かされている」と考えることができる。こうした思いやりのある謙虚な心で利用者様、法人、職員が地域社会において互いに「生かしあう」こと「支えあい、共に生きる」ことによって、お互いに生き生きとした豊かな人生を生きることができる。それが当法人の目指すものです。						
支援方針	ご本人の発達過程や特性行動（年齢相応の周囲の期待の範囲内の行動で、社会的活動への参加、コミュニケーション、運動等）の状況を理解した上で、個々の状態と変化に応じた支援を行うことにより、ご利用児の最善の利益の保障と健全な育成を図る。また、明るく楽しい環境を提供するとともに、相互のコミュニケーションを大切に、興味を持ち楽しめる活動を提供、支援し、自主性を向上させ、行動・活動レパートリーを増やしなが放課後生活をより充実したものとする。						
営業時間	放課後	14時	0分	17時	30分	送迎実施の有無	あり
	学校休校日	9時	30分	15時	30分		
支援内容							
本人支援	健康・生活	・通所時と帰宅前の1日2回のバイタルチェックと月に一度体重測定を行う。 ・自己管理や睡眠の重要性を学び、ご家族の協力を得ながら、規則正しい生活を促す。 ・交通安全や防災訓練を通じて日常の安全意識を高める。 ・個人の発達段階に合った介入を行い、成長発達を促す。					
	運動・感覚	・トランポリン等の用具を活用し、バランス感覚と空間認識を養う。 ・サッカーやドッジボール等、ボールを使った運動を行い、手眼協調と心肺機能の向上を図る。 ・音楽に合わせたダンスやリズム遊びで、リズム感と協調性を育む。 ・ストレッチ運動等で柔軟性を高め、健康な体づくりをサポートする。					
	認知・行動	・1日のスケジュール及び活動内容について事前説明し、あらかじめ見通しを立てていただいた上で、活動に取り組んでいただく。 ・ご利用児の意思を尊重しつつ、活動への取り組み状態、課題の把握に努め、心身のご負担とならない適度な配慮、工夫し、さらに既存能力向上を目指した活動を創造する。 ・感情のコントロール、タイムマネジメントを訓練し、自己調整力を養う。 ・パズルや知育玩具、記憶力ゲームを通じて記憶力や問題解決能力を育む。					
	言語 コミュニケーション	・様々な場面において、「明るく簡単で肯定的な言葉かけ」及び「特有行動の観察」を常に意識し、言葉かけやホワイトボードを使った視覚的情報提示を行い、アプローチを行う。 ・ご利用児からのアプローチに対しては、あらゆる表出を敏感に観察し、受容の姿勢、対応を心掛け、信頼関係確立と維持に努める。 ・他のご利用児や職員と不安無く意思疎通していただけるように、あえて言葉の発出を待つ、補う姿勢で支援する。 ・絵カードやタブレットを使用し、言葉が難しいご利用児のコミュニケーションを支援する。					
	人間関係 社会性	・集団遊び(サッカーやドッジボール、カードゲーム等)や事業所の行事やイベントに参加する。 ・成功体験の共有や日常的に相手を褒める習慣を通じて、自己肯定感を高め、お互いの成長を喜び合う機会を提供する。 ・挨拶、ルール、マナー、礼儀、感謝、謝罪など社会生活で活躍するスキルを身につける。 ・友人、上下、利害、協力、対立など集団で発生する人間関係において、適切な行動や選択ができるよう一緒に考える。					
家族支援	・定期的な面談（6ヶ月に1回程度）で、ご利用児の成長や課題について話し合い、心のケアをサポートしていく。 ・ご家族からのご要望やご意見について、その都度サービス提供に活かす。 ・ご家族との情報交換を適時行うことで、スピード感あるトータルの支援を実施する。 ・最新の情報や支援方法を共有し、ご家族の知識を高める。						
移行支援	・定期的な中間評価と修正を繰り返し、最終的には就学、卒業等の移行期支援へと繋ぐ。 ・自分のストレンクスや希望を理解し、自分で決める力を育てる支援を行うことで、自己管理と自己決定能力の向上を図る。 ・支援機関や学校と連携し、継続的な支援が受けられる環境を整える。 ・進路先や移行先への相談援助、情報提供等を積極的に行う。						
地域支援・地域連携	・地域や他の福祉事業所との学習、体験、交流活動等による交流の機会を提供する。 ・ボランティア、見学、体験等の受け入れ等により、積極的に地域との交流を図る。 ・併設事業所(生活介護、就労継続支援B型)との連携、また具体的な関わり方について相談助言を行う。 ・各関係機関と連携し、ライフステージにおいて切れ目のない支援を行うことで、身近な地域の中で安心して過ごせるよう努める。						
職員の質の向上	・外部研修への参加を通じて最新の知識と実践的なスキルを習得する。 ・資格取得のための費用補助や学習支援、資格講座を提供し、職員の専門性を高める。 ・職場内研修の実施(年間スケジュールにそって実施) ・働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図る。(年1回ストレスチェック実施)						
主な行事等	・お花見、七夕、納涼祭、ハロウィン、クリスマス会、新年会、節分、バレンタイン、ホワイトデー、プール遊び(夏休みのみ実施) ・パステルアート(長期休暇中に実施) ・クッキング(毎月) ・近隣施設、公園等への日帰り旅行(年2~3回程度)						